

方針と重点	基本施策	学校の教育目標	資質・能力	育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・未来社会を創造する一歩踏み出し、乗れ越え挑戦し続ける子の育成	⑤④③②① 安全・安心で快適な教育環境の整備 DXを地域・関係団体等との協働による郷土教育の推進	豊かな心、健康な体力、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	笑顔いっぱい江名子の子 まなびあい たすけあい すべての子に居場所と絆を みがきあい 児童・保護者・地域と共に	（学力に責任を持つ）	①② 学習の質を高める	学年の実態に応じた教科担任制の実施	学年の実態に応じた教科担任制の実施	A	・全学年で教科担任制を実施できた ・チャレンジタイムの位置づけ92.8% ・授業が楽しい84.2% ・授業がわかる89.4% ・タブレットを活用した授業の実施82.7% ・グループ隊形授業や授業後半のチャレンジタイムの取組100% ・学力の定着については特徴的な例として前期40点台だった児童が後期80点まで伸びた児童もいた
						授業後半に「チャレンジタイム」が定着した 主体的・対話的で深いまなび	授業後半に「チャレンジタイム」が定着した 主体的・対話的で深いまなび	A	
						授業が楽しい	授業が楽しい	B	
						授業が分かる	授業が分かる	B	
					①	基礎・基本的な学力の定着	4月から1月でテスト比較し、上昇した人数70%以上めざす	B	・朝の会や帰りの会及び学習並びに生活指導すべてにおいて複線型で実施 ・仲間の輝き見つけ88.3% ・自分には良いところがある74.7% ・物を大切にする指導 職員100% 児童90% ・自分からあいさつができる88.8% ・相談できる大人がいる91.1% ・完全不登校0新規不登校0実現
					①②④	学習の個別化と指導の個性化を図る	タブレットを活用し、個に応じた指導・支援を行う	B	
					①②	内省をキーワードにした研究の推進	自律型学習者を育成するための授業改善チャレンジ	A	
					①②	良さの実感と「小石作戦」で自分らしく挑戦し続ける力を育成	複線型の支援で合同朝の会実施や多くの大人で関わる	A	
							輝きみつけ（自己肯定感の育成）	B	
							「自分には良いところがある」	B	
					①②	人や物を大切にできる	「服をたたむ」と「机を持ち上げて運ぶ指導」	A	
							仲間の輝きをひとつは見つけることができた	B	
							自分から挨拶ができる	B	
					②	危機管理の組織的な対応	いじめ対応や食物アレルギー対応などをチームで迅速に行う	A	
					①②④	特別支援教育の充実と要支援児童への支援の充実	交流授業や居住地校交流でインクルーシブで個と向き合う	A	
					②		必要な児童に必要なタイミングで組織的に支援する	A	
					②④	多様性を認め個に応じた支援の充実	完全不登校0 新規不登校0	A	
					②	相談活動の充実	学校内に相談できる大人がいる	A	
					①③	キャリア教育の積極的な協働	地域の方の講話、地域での体験活動を充実させる	A	・コンプライアンス研修月1回実施 ・業務改善や特に早く帰る日の設定、日課の見直しなどで時間外勤務対前年度比19%減小 ・短歌学習、田んぼ学習、読み聞かせ、クラブ活動、食育、バンドリ、花もち等地域と連携したキャリア教育や総合学習の実施 ・江名子校区にある史跡についてリーフレットを作成し全戸に配布
							地域の方の力を学校で活かす（クラブ活動）	A	
					②③④	家庭との連携	眠育の推進 早寝早起き朝ごはん	B	
					①③	えーなこの町 地域と連携した総合的な学習	田んぼや畑等、地域講師の活用と連携（年間計画に基づいた活動）計画	A	
					③④⑤	危機管理研修の充実と組織的な対応、業務改善の推進	・複数の職員が連携し、未然防止から事後まで迅速かつ誠意をもって対応する ・子どもたちの笑顔は職員が笑顔であること 労務管理と働き方改革を推し進める	A	
					③④⑤				

学校運営協議会における主な評価内容

- ・子どもたちの明るさの陰には、教職員の温かいまなざしがあると感じた
- ・今年度の合言葉「小石作戦」について、石垣は小石があるから大きな石を支えられる
- ・若い職員や多様な働き方の職員が増えるので、先生育て（人材育成）を地域でも担っていかなければならない
- ・個に応じた対応のきめ細かさに感謝すると同時に、大変さを感じる。PTAとして家庭教育の面でサポートしていきたい